

(別紙4)

1. 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3270400900
法人名	有限会社アップウェル
事業所名	グループホームたくひの里
所在地	島根県出雲市大津町3645
自己評価作成日	平成22年2月18日
評価結果市町村受理日	平成22年4月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.fukushi-shimane.or.jp/html/kaigojyohou/index.html
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ワイエム
所在地	島根県出雲市今市町650
訪問調査日	平成22年3月3日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

我電創水を使用し、食器洗いや洗濯・掃除等に利用しており、消毒や除菌に徹底して取り組んでいる。

毎週金曜日にボランティアグループの方が来られ、世間話をしたり、踊りや大正琴・ハーモニカ演奏、様々なクイズなどをして交流している。(現在5グループ18名の方がおられる)

毎月ケーキ職人の方が来られ、季節の果物を使い、誕生日ケーキやバレンタイン・クリスマスケーキを頂きながらお祝いをしたり、季節感を感じていただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは山間の木々や畑など、身近に四季を感じることのできる環境に囲まれている。

木造瓦葺き二階建ての外観で、内部は壁や床、柱や天井の張りといった各所に木材を多く用いており、落ち着いたゆったりとした生活を送ることができるといった印象を受ける。また、窓は二重ガラスであり、設置者の利用者に心地良い生活を提供したいという思いが伝わってくる。

共有スペースでは、利用者がそれぞれ少人数で、自分たちがやりたいことや望むことを無理なく行っており、自由で穏やかな時間が感じられた。

運営者、管理者、職員ともに、評価の意義は理解しており、全職員で自己評価を行い、より利用者本位の質の高いサービス提供を目指している。

地域のお祭りへの参加や、様々なボランティアの来訪による交流が多くある。近隣の保育園との交流も盛んで、利用者に喜ばれており、より地域に密着したホーム作りに向けて積極的な取り組みがなされている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム独自の理念を作り上げており、「笑顔の介護」「ノーと言わない介護」を基本に、地域との交流も大切にしながら過ごしていただけるよう努めている。	「大津の里の皆様といきいきとした交流…」といった内容で、誰が見ても分かりやすく、地域密着に視点を置いて、地域との深い関わりを目指すといったホーム独自の理念が定められており、地域との交流も多い。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事や地元の記念館へ行ったり、祭りに参加して交流している。 昨年度より場所を提供し、地域の方々ととんどさんを行っている。	地域の老人会が主催するお茶会や行事に参加する利用者もあり、近くの神社の祭りには全員が参加し、地域の方々と交流している。 職人のケーキ作りや、ボランティアグループの来訪も多く、地元の子供達との交流も盛ん。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今年度より地域へ向けての会報を発行した。今後は、3ヶ月に1回程度を目安に会報を発行する予定にしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議で状況を伝えたり報告を行っている。 利用者を含む参加者の方から助言をいただいたり、意見交換を行い、サービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回定期的に開催しており、会議では報告、意見交換を行い、出された意見、要望等をもとに改善に繋げ、をホームの質の向上を目指す機会としている。	単なる報告や情報交換の場とせず、会議メンバーと協働して、認知症高齢者に限らず、地域において全ての住民が安心して暮らしていける“地域福祉ネットワーク”の構築等、更なる積極的な取り組みが期待される。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を活用したり、必要時には連絡や相談をし取り組んでいる。	管理者は生活保護者、知的障害者の利用があることから、市の担当部署に自ら足を運び、情報提供と報告を行うなど、蜜に連携を取ることによりホームの質の向上を目指し取り組んでいる。	

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ケアについては拘束をしないよう、日々確認し合いながら取り組んでいる。 玄関は安全確保のため、夜間のみ施錠を行っている。(21時頃～6時頃)	マニュアルも整備されており、研修会も開催され、身体拘束をしないケア提供への意識は高く、身体拘束は一切なされていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	言葉かけや対応には十分気をつけ、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要性に応じ活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者や家族に十分な説明を行い、理解していただけるよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中や、来所時に話をする機会を設け、必要なことは記入し反映させるよう努めている。	意見箱も設置され、家族の面会時には無理なく意見や要望を言える声掛けがなされ、また毎月、利用者の状況などを記した便りが送付されるなどの工夫も見られ、家族からの、意見や要望があればケアに生かす体制も作られている。	

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議を設けたり、一人ひとりの意見等を聞く機会を設けるようにしている。	日々の日報、各種会議の記録等により代表者や管理者には報告がなされており、その内容を運営に反映させる仕組みが構築されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	状況を把握し、整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	一人ひとりが適した研修を受けられるよう、計画を立てている。 また事業所内での勉強会等を計画し開催している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム連絡協議会を活用し、他事業所との交流に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の話を十分聞き、また安心されるよう言葉かけに配慮し、関係作りに努めている。		

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話を十分にお聞きし、何でも話していただけるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・家族と話をし、適切な対応ができるよう支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互いに助け、支え合いながら生活できるよう関係作りに努めている。 時に助言をいただくこともある。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人と家族の関係を大切に、ホームでの様子をお伝えしながら、できることを話し合い支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの店や理・美容院を利用したり、知人の方との関係も継続できるよう支援している。 ホームへ来られた際は、ゆっくり過ごしていただけるよう配慮している。	入居前に詳細なアセスメントが行われており、馴染みの人や場の情報は把握し、その情報を基に利用者の意向を捉えながら関係継続の支援が細かく行われている。	

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関係を把握し、テーブルや席の配置を工夫したり、必要時には職員が間に入るようにして適切な支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて行っている。 退所後も訪問して下さる家族の方がおられる。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段の会話や生活の中から希望等を聞いたり、表情や反応から思いをくみ取るよう努めている。	本人の思いや意向に添うように努めており、意向把握が困難な場合は、“利用者主体”に主眼を置き、家族から意見を聞いたり、日々の生活から希望や意向を把握するよう努め、職員の一方的判断とならないよう注意している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族・知人の方などから話を聞き、把握に努めている。新たに知ったこと等も記録に書きとめるようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	必要時や毎月のモニタリングの中で把握に努めている。		

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人や家族の希望等を聞きながら、状況に合わせたケアができるようケアプランを作成している。 また毎月のモニタリングや会議等で振り返りケアプラン作成をしている。	本人や必要に応じて家族や関係者とも意見交換・検討を行い、“望む生活”“あるべき人生”を実現するための課題を全職員で抽出し、協議・検討がなされ介護計画が策定されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの状況を記入し、情報共有や見直しに活かしている。 また必要なことは会議等で取り上げ、話し合っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や家族の状況・ニーズにあわせて、できる限りの対応は行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	活用、協働しながら支援している。 毎週のボランティアグループの方々との交流も継続しており、皆様も楽しみにされている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	今までのかかりつけ医や、ご本人や家族と相談し、適切な受診や往診ができるよう支援している。	利用前からのかかりつけ医での医療が受けられるよう、家族等共に協力し通院介助を行ったり、訪問診療対応の医療機関を紹介したりしながら、本人や家族が納得できる受診支援を行っている。	

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ病院の看護師と、情報や気になること等を伝え相談しながら、適切な対応ができるよう支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には早期に退院ができるよう、またご本人も安心できるように、病院関係者や家族と情報交換や相談しながら対応を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人や家族・医療関係者と相談しながら対応している。 また職員間でもできること・できないことを話し合い、ケアに取り組んでいる。	利用者全員に重度化や終末期に対する意向を聞き、把握がなされ、本人や家族かかりつけ医との協議の上、連携を図りながら対応していく方針が共有され支援されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に訓練を行っていないため、計画をたて全員が実践力を身に付けていきたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に火災時の避難訓練は行っている。 また火災以外の災害訓練も検討中であり、今年から回数を増やす予定である。また火災以外の災害訓練も検討中。	地元の消防署の協力を得て、自衛消防訓練を行っている。また運営推進会議の委員の方にも声をかけをし訓練の参加をお願いしている。	いつ起こるかもしれない緊急事態に的確に対応できるスキルを全職員が習得し、対応ができるよう、消防署の協力を得ての救急救命講習の開催や、マニュアルの整備等、更なる改善に向けての取り組みと体制強化を期待したい。

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声のトーンや言葉使いに十分注意し、対応している。 会議や日々のケアの中でも、職員間で振り返りや確認し合うようにしている。	衣服の乱れや汚れがあればそっとカバーするような対応がなされ、排泄介助の際もプライバシーが守られ、本人の「現実」を否定しないよう、全職員が意識統一を図って適切な声掛けがなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いや希望を言っただけできるよう、また自己決定できるよう言葉かけに配慮し、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースや体調にあわせ、日々気持ちよく過ごしていただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行事等ある時は事前に声かけし、ご自分で身だしなみを整えておられる方もいる。 日頃より、整髪や服装等に気を配り、声かけや支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりが美味しく楽しく食事ができるよう、工夫し支援している。下膳される方や漬け物作り等して下さる方もいる。	当日はバイキングの日であり、外注のおかずがテーブルに並び、利用者と職員夫々が、お皿に自由に取って食事を楽しむ風景があった。 普段は下準備や盛り付け、おやつ作りなどを一緒に行っている。	

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態にあわせ、量やバランスを考え提供している。水分もこまめにすすめたり、好みの物や飲みやすい物を準備し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの状態や能力に応じて、声かけや支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンや状態を把握し、その方にあわせた支援を行っている。	排泄チェック表などから利用者一人ひとりの排泄のパターンを職員が把握、適時に誘導することによりトイレで排泄できるように支援している。また利用者の身体機能等に応じてのケア提供がなされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックをし、運動や飲食物・食べ物を工夫して予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの希望や状態にあわせて入浴していただけるよう工夫している。	入浴に関してはあくまでも本人等の希望に合わせた入浴ケアが提供されている。 入浴を拒む利用者に対しては、言葉掛けや対応の工夫等によって一人ひとりに合わせた入浴支援がなされている。	

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や、その日の体調・天候等に応じて休息や安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容は一人ひとりファイルしており、変更時や注意点は都度申し送りし、状態観察を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各々の得意なこと・好まれることを把握し、張り合いをもって過ごされるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年度は新型インフルエンザの影響もあり、いつもより思うように外出できないことが多かったが、個々の買い物や家族との外出支援を行っている。	利用者の意向や希望を踏まえ、近所への散歩や買い物、理美容院の利用、加えて地域行事等への外出支援などが実施されており、外出の機会が多い。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望に応じて、こづかい管理をされている方もおられ支援している。 買い物を頼まれた際には、金額を伝えたり等して支援している。		

【セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時に電話ができるよう支援したり、携帯を所持されている方もおられ適宜支援している。 手紙のやり取りも継続できるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は温度調整や換気・掃除をこまめに行い、気持ちよく過ごせるよう配慮している。 お花を生けたり、菖蒲湯・ゆず湯等も行いながら季節を感じていただけるよう工夫している。	古民家調の共有空間は、様々な利用が可能であり、吹き抜けの共用スペースは圧迫感のない居心地の良い空間となっている。 壁面には目で楽しむ季節の飾りつけ等があり、各所に季節の花も置かれていて季節感も感じられる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	団欒できる空間があったり、テーブル配置も工夫し、各々に過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、本人や家族と相談しながら気持ちよく過ごせるように物を設置している。 また各々に使い慣れた物や好きな物をおいて過ごされている。	ホーム設置の家具が設置されているが、利用者の家から使い慣れたテーブルや椅子、テレビやベッド、カーテンなどの持ち込みがあり、家庭的な雰囲気のある利用者個々の心地よい環境作りがなされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	標示や手すり・テープ等使用し、わかりやすく安全に過ごしていただけるよう工夫している。		